

※ホームページには7月22日に掲載予定です。

月刊「BOSS」8月号(6月22日発売)に「新渡戸稲造×武士道」という特集記事が掲載されました。その中で「女性の自立にも尽力 教育者・新渡戸の3つの顔」というタイトルで本学の豊川圭一理事長のインタビュー記事が載りました。この記事には、元国連事務次長の明石康氏、多摩大学学長の寺島実郎氏、元資生堂社長の池田守男氏、中国大使の丹羽宇一郎氏などの新渡戸先生に関するインタビュー記事も載っています。

また、本学にある新渡戸先生の胸像の写真も載っています。この雑誌は、本学図書館にも所蔵していますので、興味のある方は読んでみて下さい。

## 特集◆新渡戸稲造×武士道

け、四一年にメリーさんが亡くなるまで存続していました。

三つ目が女子教育。社会的弱者に対する教育という意味では、二つ目と共通していますが、当時の男尊女卑の日本社会のなかで、とりわけ自立した女子をつくることに力を入れていました。現在の校名で言えば、普通女子学舎や恵泉女子学舎などの設立に関わっていますし、津田塾大学の創立にも津田梅子さんを応援して手伝った。初代学長をしたことで知られる東京女子大学も安井てつさんとハーバード大教授で知られるライシヤワさんの父親の三人で設立しています。

国際連盟事務局長の任を終えて帰国した際、札幌農学校時代の弟子である森本厚吉が設立して、女子教育に造詣の深い新渡戸先生に初代校長を頼んだのが東京女子経済専門学校、現在の新渡戸文化学園です。二八年に校長に就任して、三三年に校長のまま亡くなりましたので、新渡戸先生の思い入れが深い学校だったようです。

なぜ新渡戸は女性教育にここまで尽力したのか。新渡戸の「武士道」第一四章でも女性に対する記述がある。「私は女子が男子と同等に待遇せられなかつたと述べるに躊躇しない」としつつ、「社会的政治的単位としては高くなかつたけれども、妻

## 新渡戸稲造×武士道⑥豊川圭一・新渡戸文化学園理事長

# 女性の自立にも尽力 教育者・新渡戸の3つの顔

### 新渡戸の本質は教育者

東京都中野区にある新渡戸文化学園は、幼稚園から短大までを併設する一貫校。新渡戸稲造が晩年、亡くなるまでの五年間、校長を務めていた学園だ。新渡戸とメリーは「武士道」を海外向けに英語で執筆したり、国際連盟事務局長を務めるなど、国際派としての印象が強い。しかし、新渡戸は教育者として多くの実績を残している。

「まず、新渡戸稲造は法学博士、法學博士、哲学博士と三つの博士号を持つ学者としての一面があります。また『武士道』など多くの著作を残した文筆家。そして植民学にも精通して台湾では製糖業を主要産業にして自立の道を示すなど行政官であり、実業家としての一面もあります。そして国際連盟の初代事務局長として七年間活躍し、現在のユネスコの基礎となった、国際連盟の世界的協力委員会の事務次長を務めるなど、外交官としての一面。帰国後は貴族院議員として政治家にもなっています。こうしてさまざまな分野で才能を發揮したわけですが、彼の本質はやはり教育者としての顔だと私は考えています。」

こう語るのは新渡戸文化学園理事長の豊川圭一氏。三菱信託銀行専務、日本マスタートラスト信託銀行社長を経て、経営者目線で学校経営に携わっている。慶応義塾大学出身だが、「福沢諭吉先生よりも新渡戸先生の功績のほうがスゴイ」と、心算惚れ込んでいるようだ。

「以前は先生と呼ぶのは福沢先生だけだと思ってきましたが、新渡戸先生を知るにつれ、考えが改まりました。時代背景に違いはありますが、福沢先生は日本に開国を促す、新渡戸先生は諸外国に日本を広めた人です。国際人としての功績は計り知れません。」

加えて、福沢諭吉は慶応義塾大学を創ったが、新渡戸は数多くの学校

で教鞭を振るい、設立にも関与している。さまざまな国内外の功績の陰で、常に新渡戸には教育に関する肩書が外れたことがない。

「教育者の新渡戸先生には三つの顔があります。一つはエリート教育。彼は愛国者ですから、日本という国を指導していくためのリーダーを育成したいと考えていた。東京帝国大学、京都帝国大学、札幌農学校(現北海道大学)で教授となり、旧制一高の校長も六年務めています。」

もう一つが社会教育。彼がジョンズ・ホプキンス大学に留学したのは私費でしたから、ものすごい苦学だったようです。その経験もあって、貧困で教育を受けられない人たちに教育を施すというのが生涯のテーマでした。奥さんのメリーさんはアメリカで資産家の嫁だったこともあり、ある時「○○○の遺産が送られてきた。そのうち○○○を使って、昼間働いて学校に行けない人たちのために、札幌に遠友夜学校を私費で設立します。この夜学校は一九三三年の新渡戸先生の死後もメリーさんが校長となって授業を続



とよかわ・けいいち 1943年8月生まれ。85年慶応義塾大学経済学部卒業後、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社。89年取締役、95年常務、99年専務、2000年日本マスタートラスト信託銀行社長を経て、2007年新渡戸文化学園(現新渡戸文化学園)理事長。

新渡戸稲造の遺像の書が多額寄贈されている。

第三条以降は教育論というよりも教職員のリールについてを記したもので省略する。

豊川氏は、これから新渡戸の教育的思想を改めて現代に置き換え、実現しようと取り組んでいる。

### 新渡戸イズムを継承

新渡戸文化学園には、九カ条の「教職員心得」がある。これは一九三一年に校長の新渡戸稲造が制定したものだ。新渡戸は「本校の教職に就くに当り私は自ら心得置き度き事があり」と自らの教育方針を全教員に伝えたという。

「第一条が一人の子を預る以上は親

心を以てこれに対すること。新渡戸先生は五歳で父を亡くし、九歳で母に「偉い人になるまでは帰ってきやしない」と言われ、東京の叔父の養子になります。それから約一〇年間一度も母に会わず、一八歳の時に初めて帰省をします。ところが、彼は「ハハキトク」の電報と入れ違いで出発して、寄り道をしたため、三日後に母の亡骸と対面することになるのです。これが彼にとっては強烈なトラウマになってしまった。母親への愛情は何ものにも代え難い情として、母の命日には一人静かに部屋に引きこもり母の手紙を読み直して涙んだそうです。親心を以て対するというのは、母親のように愛情をもって接しなさいということだ。

第二条が「学業を授くるに習育のみに偏せざるよう思慮と判断力の養成に努むること」。現代で言えば、偏差値が高いといふ学校、低いと悪い学校と見るような風潮があります。新渡戸先生は習育に偏った偏差値教育をしてはいけないと警鐘を鳴らしていたわけです。」

「現代において社会的弱者とは何か。私は子供を生んだキャリア・マザーだと考えています。子育て中の女性が一番弱い立場。男性と伍して仕事をするのに、結婚して子供ができた途端に競争で遅れをとる。女性が子供をつくるのは自然なことにもかかわらず、子づくりをしない女性が増えています。そこでキャリア・マザーの子供を一年の三〇〇日、一五時間預かれる施設に替えようとしています。小学校へ上がるまで早くから、小一の壁。がありますが、単なる学童保育ではなく、お稽古や学べる施設、小学校にアフタースクールを併設しようと取り組んでいます。」

偏差値教育ではなく、専業主婦が子供と接するのと同じように親心を持った人格教育をし、社会的弱者に手を差し伸べる機関をつくることだ、新渡戸イズムを引き継ぐことだと思っています。」

(本誌・児玉智浩) B